



© JFA / PR



VOL.37 2021.12.14

普及コーディネーター取り組み事例紹介①

香川県

長尾 文博さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

近年増加傾向にあった女子選手の登録数であるが若干の減少傾向にあることに大きな変化がありません。現在増加方向にシフトするために4種、3種、2種、1種年代へと様々な施策を打っています。特に4種年代へのアプローチを様々な方面からチャレンジを仕掛けていることに大きな変更はありません。地域合同チームによる県大会の実施、県内4地区でのガールズスクールの常設、女子(U-12)フェスティバル等の定期開催などがこれにあたります。しかしながら4種年代に育成した女子選手が3種年代にスムーズに繋がっていません。女子チームの少なさがその要因でもあり、活動機会の創出が急務であると考えています。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

3種年代に向けては従来よりガールズ(U-15)フェスティバルを実施してきましたが、やはり既存のチームからの参加がほとんどで、3種年代サッカー活動未継続選手の掘り起こしと未経験者のサッカー体験機会創出が急務となっています。4種年代には従来よりガールズ(U-12)サッカーフェスティバルだけでなく、小学生低学年に特化したガールズ(U-10)サッカーフェスティバルを継続実施し、多くのサッカー初心者を集めてきました。本年度はこれを3種年代に拡大し、特に3種年代のガールズスクールを企画しました。しかしながらコロナ禍の影響もあり、思うように開催できず、すべての事業スタートが11月以降にずれ込みました。また来年1月以降も続く本施策を成功に導けるよう、更なる工夫をしたいと考えます。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

本施策は最初に丸亀市教育委員会にアプローチし、市内全中学校の女子生徒全員に初心者ガールズスクールのリーフレットを配布してもらいましたが、コロナ禍による度重なる延期の為、思うように開催できていません。やっとこの11月28日に1回目を実施しましたが、やはり初心者の参加はなく、すべて経験者12名による実施となってしまいました。丸亀市内の民間フットサル場2面を使い実施しましたが、2回目以降（2022年1月及び2月）の成功の為、丸亀市に限定せず、坂出市及び綾歌郡にも告知活動を拡大し始めています。まず宇多津中学校サッカー部顧問に連絡し、本施策の説明とともに協力及び告知活動の拡大を依頼しました。

また本施策の運営は香川県FA女子委員会だけでなく、3種委員会、技術委員会の協力にて実施予定です。

特に当日の指導者については3種委員会、技術委員会から指導者を派遣してもらい、メニューについても更なる改善を加えたいと思います。来年度以降は丸亀市、坂出市、綾歌郡だけでなく、県内全域での展開に向け準備したいと考えます。

【今後の目標】

年度当初に企画した本施策ですが、11月後半にやっと初心者ガールズスクールの1回目をスタートできました。定期開催を予定し、1月・2月には本格的にU-15ガールズスクールを開催します。女子登録選手の確保に向け、各種施策を継続的に拡大実施したいと考えています。私は香川県FAの女子普及コーディネーターだけでなく、4種委員長、キッズ委員長、女子副委員長も兼務していますので、各種別間連携についても更なる連携を加速させ、女子選手の登録拡大に向け努力したいと考えています。



普及コーディネーター取り組み事例紹介②

徳島県

田村 博さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

「大切」の優先順位をつけるならばキッズ、4種年代です。「1600人代の4種登録者→中長期2000人」の数値目標は簡単ではありませんが、一人でも多くの子どもたちにスポーツのすばらしさ、サッカーの楽しさを届けたいと思います。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

小学校体育授業に関するアンケートをJFA戦略企画部、徳島FA、小学校体育連盟の協力のもと実施しました。小学校体育サポート研修会の事業認知、小学校体育におけるサッカー授業の活用状況について実態調査しました。小学校の授業で広くサッカーが選ばれ、活用していただけるということは、長い目で見れば裾野拡大につながっていくものと考えています。また、キッズ巡回指導、フェスティバル事業、なでしこひろば、女子サッカーデー、キッズリーダー養成講習会等各種事業への関与を進めています。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

徳島FA事務局とは定期的に且つ積極的にコミュニケーションを取っています。Jクラブ徳島ヴォルティスとの関わりについてですが、コロナ禍により計画が頓挫しましたが、現役の小学校教諭と徳島ヴォルティスホームタウン事業部のコーチ数名にご参加いただき、小学校体育サポート研修会事業の企画・立案を



していました。巡回指導は地域貢献、地域密着、サッカーの苦手な先生方に変わって専門家が子どもたちを指導します。一方、先生方ご自身が楽しいサッカーの授業を実践する小学校体育サポートとのコンセプトの違いを知っていただく機会にしたいと考えていました。

【今後の目標】

グラスルーツ推進の理念にある「サッカーをもっとみんなのものに」を実現できるような裾野の拡大に向け、インクルージョン（誰も排除されない）の考え方をベースに、キッズ、4種、女子、障がいのあるなしに関わらず、連携を積極化しながら、多くの子どもたちと関わる機会を創出していくことを目標にしています。具体的に、4種の大会事業の同会場でキッズフェスティバル等を実施することでキッズの活動を認知してもらい、4種のチーム紹介に繋げる等の相互理解・相互連携を深め、キッズの3本柱+1、巡回指導、フェスティバル、指導者養成、キッズエリートの活動に尽力していきます。



普及コーディネーター取り組み事例紹介③

愛媛県

赤瀬 文さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

これまでは女子関係のフェスティバルは年数回行われていましたが、昨年度は予定されていたものが中止になることがありました。今年度も12月から年明けにかけて予定されており、無事に実施されることを期待しています。独自の取り組みとして審判委員会の協力のもとフェスティバルが審判員の発掘・育成の場として活用されているケースもあります。

現在、県内ではJFAなでしこひろばが実施されておらず、身近にサッカーをはじめのきっかけづくりとなる場が限られているように思います。フェスティバルやなでしこひろばの実施で新たなサッカーファミリーを誕生させるようなさらなる工夫が必要だと感じています。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマ<広げよう“女子サッカーの輪”>

私が活動する中で常に心掛けているのは「仲間を増やす」ということです。県内のさまざまな地域、さまざまなカテゴリーの関係者とコミュニケーションをとりながら、各地域における女子選手の現状を知るために情報収集を行っています。自分の得た現場での情報をフェスティバルの実施などに活用できるよう積極的に関わっていきたいと思っています。女子の普及活動に関して、より多くの方の理解を得るためにも自分の自身の活動範囲を広げていくことを継続していきたいと思っています。



【FA、自治体、クラブ等との関わり】

県内にはなでしこリーグに所属する愛媛FCレディースやなでしこリーグを目指しているFC今治レディースがあり、そういった選手がゲストとしてフェスティバルにも参加してくれています。同じ県内で活動しているという身近な選手たちとのふれあいを通し、そういった場を目指す選手が出てくることも期待しています。

昨年立ち上げた情報サイトにはカテゴリーにとらわれないチーム紹介のページを作成しました。地道な声掛けで種別を超えたチーム情報が集まるようになり

サッカーチーム探しの一因となれるよう、今後も情報発信を充実させていきたいと思っています。



【今後の目標】

登録者の増加における重点事項はキッズ年代に対するアプローチだと考えています。そのためにJFAなでしこひろばの開催を企画しています。愛媛県を3つの地域(東予・中予・南予)にわけ、各地域でキッズ～小学校低学年を対象とした普及活動が継続して行えるような仕組みづくりを考えています。一般の登録者数の減少も課題ですが、今年度県U18リーグがスタートし、このリーグが活性化されることで社会人になっても県リーグで続けるという流れができるようにアプローチをしていきたいと思っています。

また、指導者の発掘にも注力していきたいです。今年度は実施することができませんでしたが、女性向けの指導者養成講習会の開催も検討しています。特にD級コーチ養成は4種などの保護者に興味をもってもらえるような取り組みをしていきたいと思っています。

今年度も思うように活動ができませんでしたがこの苦境をみんなで乗り越え、サッカーファミリーの拡大、新たな人材の発掘に向けやれることから始めていきたいと思います。



普及コーディネーター取り組み事例紹介④

高知県

公文 菜子さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

新型コロナウイルスの影響で予定していたフェスティバルの中止が相次ぎ、今年度は対象範囲の広いフェスティバル等はまだまだ実施できていません。県下全域での活動は難しい時、地域で何が出来るかが課題となっています。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマ<地域単位での種別をこえた普及活動>

上記のような課題から今年度の新たな取り組みとして、黒潮町で「くろしおサッカーデー」を実施しました。これまで地区単位の活動はありましたが、1つの町としての活動は初めての実施でした。本事業は女子の普及を考えていく中で、地域の指導者と話をした際に「女子も受け入れたいが、そもそもサッカーをする子どもが少ない」



「他種別のチームとのつながりが少ない」といった声があり、それならば男女関係なく保育園児から社会人までを対象にフェスティバルをしようということになりました。

保育園児や低学年は女の子も多く参加してくださり、幼少期からの普及活動の大切さを感じました。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

今回のフェスティバルは自治体の「スポーツ月間」と重なることになり、地元の教育委員会に相談したことで会場費を負担していただきました。また、各カテゴリーの指導者として男子の社会人チームが関わり、高校の女子サッカー部が保育園・低学年のサポートに入るなど、町内一体となったの取り組みとなりました。今後は、このフェスティバルに参加してくれた女の子が、サッカーを継続してできるような取り組みを行っていきたいと思います。また、ママさんで参加してくださった方は、4種のチームの保護者の方々でした。ママさんの普及の入口として4種の大会とリンクさせるなど、相互に連携を取り合いたいと思います。

【今後の目標】

高知県下全域を見た際に、中学生の活動の場がほとんどない地区もまだあります。しかし、そういった地区でも小学生まで活動している子どもたちもいるので、その子どもたちがこれから活動できる場も創設していきたいと考えています。そのためにも、4種との連携のみならず、その地区のサッカー関係者とも連携しながら進めていきたいと考えています。また、普及活動の情報が行き届くよう、情報発信の方法も再考する必要があると思っています。サッカーに関心をもってくれたすべての人に届くよう、SNSの活用も含めて検討していきたいと思っています。



【九州地域の審判事業紹介】 九州U-12女子大会における女子審判員育成研修会を実施

この度、11月27日（土）・28日（日）の2日間、「JFA U-12ガールズゲーム2021九州・第8回なでしこMIYAZAKIカップ」において「九州3級女子審判員育成研修会」を新規事業として実施させていただきました。

九州女子委員会からご相談をいただき、九州審判委員会とタイアップして研修計画を進めてきました。沖縄県を含む九州各県から3級女子審判員（U-20）6名の参加があり、有意義な研修となりました。審判指導は地元宮崎県の審判インストラクターにご協力いただき、合計40試合中、24試合（4試合/1人）を3級女子審判員で主審を担当させていただきました。この試合では、U-12女子の8人制一人審判法が採用され、不慣れではありましたが、ポジショニングの重要性をより体感できた研修となりました。

日頃より、九州女子委員会にはご理解をいただき、九州各種大会において審判員強化研修等も実施させていただいています。今後も女子委員会との情報共有を含め、タイアップしながら、女子審判員の育成に取り組んでいければと思います。参加した女子審判員も楽しく研修できたと喜んでおり、関係者の皆様には深く感謝申し上げます。

九州サッカー協会 審判委員会 女子部



試合毎に審判インストラクターと振り返りを実施



参加された女子審判員（6名）の皆さん

新たに須賀雄大氏を監督に迎えてフットサル日本女子代表が始動



<新たに須賀雄大氏を監督に迎えてフットサル日本女子代表が始動>

日本サッカー協会（JFA）は11月22日（月）にオンラインで記者会見を開き、フットサル日本女子代表の新監督を発表しました。フットサル日本女子代表の新監督には須賀雄大氏が就任。Fリーグに参戦しているフウガドールすみだを2020-2021シーズンまで15年間、前身チーム時代から指導。指導者としてだけでなく、組織の代表者としてチームを束ねた経験と実績を女子フットサルの普及にも生かしてほしい（北澤豪フットサル委員長）とその手腕を買われて就任しました。男子に比べて歴史の浅い女子フットサルの新たな歴史を作るべく、チームを牽引していきます。

<須賀雄大監督コメント>

まず、このような重要な責務を任命していただいたことに感謝します。そして一緒に、自分を指導者として育ててくれた、戦ってきてくれた選手たち、コーチングスタッフ、対戦相手、その関係者の皆様にこの場で感謝したいと思います。

女子の監督をした経験がない中で、女子フットサルをここまで成長させてきたたくさんの方にリスペクトを持ってこの仕事にあたっていききたいというのが最初このお話をいただいたときの率直な思いでした。そのリスペクトは口だけではなく、自分が行動していくことで示していくことができると思うので、これからそれを示していけるように、たくさんの方と意見交換をしてみんなで日本女子代表を作っていきたいと思います。

強化の面ではAFC女子フットサルアジアカップの優勝がまずひとつ大きな目標になると思います。当然そのためには女子フットサルリーグの強化もとても重要なポイントになると思います。そういったところに15年間監督をしてきた経験を生かしたいと思います。強化だけではなく、普及・育成・指導者の育成という面でも自分が力になれることがたくさんあると感じています。自分に与えられた任務を全力で全うしたいというモチベーションに溢れた気持ちでいます。これからいろいろな活動でそれを示していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

◆須賀雄大監督プロフィール http://www.jfa.jp/national_team/staff/SUGA_Takehiro.html

◆フットサル日本代表 新監督が決定 男子は木暮賢一郎監督、女子は須賀雄大監督が就任

http://www.jfa.jp/national_team/futsalw_2021/news/00028403/



そして、就任会見からわずか3日後の11月25日（木）には早速トレーニングキャンプがスタートしました。高円宮記念JFA夢フィールドで実施されたこの活動に須賀監督が招集したのはGK3人、FP17人の計20人。全員が日本女子フットサルリーグで活躍する選手で構成されました。一人の離脱者もなく、無事に4日間の活動を終えた須賀監督は報道陣の取材に「非常に手応えを感じた」と答えると、解散前のミーティングでも、「充実した4日間を過ごすことが出来た」と話して自身初の代表活動を締めくくりしました。

<須賀雄大監督コメント>

選手たちのことを知るというコンセプトを持って今回の活動に臨みましたが、深い理解を持って終えることができたということで、非常に手応えを感じています。この4日間、非常に高い強度でトレーニングしてきましたが、誰一人怪我することなく、離脱することなく終えることができたことや、最後の紅白戦もバチバチとやってくれて、そこに対しても嬉しく思っています。

前体制から引き継いだ良いところと、自分の個性を選手にしっかりと伝えながら落とし込んだ部分が紅白戦でも見て取れたので、非常によかったです。フットサルの目的であるゴールを目指すという優先順位において、垂直方向に意識を置きながらボールを保持する、もしくはそのまま攻めきるというマインド、どんどんゴールを奪いに行く姿勢を選手に求めていますので、そういった部分を落とし込んでいく時間を長くとりました。

今後に向けては、まず今回のキャンプで取り組んだことをしっかりとフィードバックして、そして次の活動で何を行うのか、よりクリティカルに考えていかなければいけないと思っています。今活動に参加しなかった選手の中にも素晴らしい選手はたくさんいるので、リーグでのプレーをしっかりと見せてもらい、自分が持っている発想に近い選手がいればグループに加えて広げていきたいと思っています。



WEリーグ情報

2021年9月12日、日本初的女子プロサッカーリーグYogibo WEリーグが開幕しました。一回りとなる第11節は、オミクロン変異株の影響で延期となりましたが、前期が終了しました。

WEリーグは、Women Empowerment リーグの略称。「女子サッカー・スポーツを通じて、夢や生き方の多様性にあふれ、一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する」という理念のもと、サッカーの試合の他に、様々な取り組みを行っています。

選手全員がC級コーチライセンスを取得するというのもその一つ。選手のキャリアの選択肢を増やし、引退後に女性指導者として貢献する人材を育成するということも一つの理由ですが、サッカーへの理解を深め、自身のパフォーマンスに生かすことを主な目的としています。

各クラブのスケジュールに合わせて、インストラクターが出向いてコースが行われています。

| 講習会立ち上げ・実施情報 | | | |
|---------------------|-------------------------------|------|----------|
| クラブ | 日程 | 受講人数 | インストラクター |
| マイナビ仙台レディース | 2021/2/17~4/16 | 16 | 山路 |
| ジェフユナイテッド市原・千葉レディース | 2021/4/13~7/7 | 19 | 大野 |
| AC長野パルセイロ・レディース | 2021/5/10~6/30 | 21 | 清瀬 |
| ちふれASエルフェン埼玉 | 2021/5/12~7/21 | 10 | 白井 |
| ノジマステラ神奈川相模原 | 2021/5/30~6/6 | 17 | 大野 |
| サンフレッチェ広島レジーナ | 2021/6/15~7/30 | 23 | 横道 |
| 大宮アルディージャVENTUS | 2022/1/17-24 or 2022/6月 | | |
| INAC神戸レオネッサ | 2022年1月 | | |
| 日テレ・東京ヴェルディベレーザ | 未定 | | |
| アルビレックス新潟レディース | 2022年6月 | | |
| 三菱重工浦和レッズレディース | 2022/5/28~6/12 | | |

現時点で11クラブ中6クラブが終了し、106名のWEリーガーが公認C級コーチの資格を取得しました。コース最初は、コーチになる気もないし、必要ないのでは？と思っていた選手たちも、コースが進むにつれて、サッカーを教える立場になるという難しさや、自分が長く携わってきた競技を新しい角度から学ぶという楽しさを味わっていたようです。

WEリーガーがコーチングライセンスを取得することで、女性指導者の拡大にも繋がり、現役中にサッカー教室などで、少年少女を指導する際にもより質の高い指導ができるようになります。サッカーの楽しさをきちんと伝えることができるので、草の根の拡大にも繋がります。

WEリーグ各クラブは、地域に根ざしていきたいと考えています。普及コーディネーターの皆さん、なでしこひろばや普及のイベントやなどがあるときには、近くのWEリーグのチームに、是非声をおかけください。現役のうちから、子ども達に触れ、コーチングコースで学んだことを、実践できる場合は、選手たちにとっても、とてもいい経験になります。そして、何よりも、少女たちが「女子プロサッカー選手」に実際に会って、夢を広げる機会にもなると思います。

万屋美穂選手（マイナビ仙台レディース）

普段サッカーをプレーする側ですが、教える側がどれだけわかりやすく説明してくれているのかを痛感しました。実際伝える側になると変に考えすぎて難しく伝えていたんだなと気づきました。伝えることが難しかったですC級を通して改めて初心に戻れました。またサッカーの基本の部分を振り返ることができて良かったです。

JFAインストラクター 山路 嘉人

本コースは、練習などの活動の合間を縫って受講出来る事から、選手たちの拘束時間、移動や経費などの負担を軽減出来るメリットがあります。また、選手の引退後のセカンドキャリアとしての指導ライセンス取得と同時に、現役選手としてサッカー理解が整理され、トレーニングの目的や意味に気づき、選手としてのクオリティアップに繋がる事を目的としています。

今回のC級ライセンスは選手たちにとっては初めて受講するカリキュラムであり、最初は不安な様子でしたが、インストラクターから提示された課題に対して選手たちは改善しようと積極的に取り組み、徐々に気付きや自信をつかんでいきました。また、指導実践やレクチャーでのディスカッションも活発に意見が飛び交い、選手同士が切磋琢磨している様子を感じ取ることができました。

指導スキルについても、指導実践を繰り返し、レクチャーで指導方法を学ぶことによって飛躍的に向上していきました。今回身に付けた知識と経験をもとに、現役選手として更なる高みを目指してプレーして頂くとともに、将来的には女子サッカー界を支える人材になる事を期待しております。



ノジマステラ神奈川相模原



ノジマステラ神奈川相模原



マイナビ仙台レディース

<WEリーグ順位表> 更新日時：2021/11/21

| 順位 | クラブ名 | 勝点 | 試合 | 勝 | 分 | 敗 | 得点 | 得失 |
|-----|---|----|----|---|---|---|----|-----|
| 1* |  INAC神戸レオネッサ | 25 | 9 | 8 | 1 | 0 | 16 | +15 |
| 2▲ |  マイナビ仙台レディース | 16 | 9 | 4 | 4 | 1 | 12 | +7 |
| 3▼ |  三菱重工浦和レッズレディース | 16 | 9 | 5 | 1 | 3 | 16 | +6 |
| 4* |  ジェフユナイテッド市原・千葉レディース | 15 | 9 | 4 | 3 | 2 | 10 | +1 |
| 5* |  日テレ・東京ヴェルディベレーザ | 14 | 9 | 4 | 2 | 3 | 12 | +7 |
| 6* |  AC長野パルセイロ・レディース | 11 | 9 | 3 | 2 | 4 | 8 | -2 |
| 7* |  大宮アルディージャVENTUS | 10 | 9 | 2 | 4 | 3 | 8 | -6 |
| 8* |  サンフレッチェ広島レジーナ | 9 | 9 | 2 | 3 | 4 | 9 | -4 |
| 9* |  アルビレックス新潟レディース | 8 | 9 | 2 | 2 | 5 | 9 | -6 |
| 10* |  ノジマステラ神奈川相模原 | 6 | 9 | 1 | 3 | 5 | 3 | -7 |
| 11* |  ちふれASエルフェン埼玉 | 6 | 10 | 1 | 3 | 6 | 5 | -11 |

なでしこリーグ HPにて “コラム” 連載中

<http://www.nadeshikoleague.jp/>



日本全国なでしこリーグの街を訪ねて

NL1部12チームのホームタウンを探訪しました。

そして…NL2部8チームのホームタウン探訪、まもなくスタート！！

チームを支えてくださる皆さまからチームとかかわるきっかけや
ご支援くださる理由などを伺っています。
また、ピッチとは違った選手の顔をご紹介します。



なでしこリーグの歴史を知ろう

日本で女性がサッカーをプレーすることが珍しかった時代から、女子サッカーリーグ開幕、女子W杯優勝、女子プロサッカーリーグ創設、また、女子サッカーを取り巻く環境、そして社会情勢は大きく変化してきました。
女子サッカーの象徴が「なでしこ」となった経緯もご紹介しています。

| | | | |
|-----|-------------------|------|--------------------|
| 第1回 | はじまり日 | 第10回 | 春の足音 |
| 第2回 | 日本の女子サッカー | 第11回 | 新しい勢力の台頭 |
| 第3回 | なでしこリーグ誕生に貢献した人びと | 第12回 | 『なでしこ』の誕生 |
| 第4回 | 初代チャンピオンは清水FC | 第13回 | 2部誕生、全国に拡大へ |
| 第5回 | 『トップランナー』ベレーザ | 第14回 | 新たな取り組み |
| 第6回 | ブーム到来 | 第15回 | 競争の激化 |
| 第7回 | 日興証券の夢と悲劇 | 第16回 | タイトルスポンサー |
| 第8回 | ワールドクラスの活躍 | 第17回 | リーグカップ再開 |
| 第9回 | 冬の時代に耐える | 第18回 | 東日本大震災となでしこジャパンの快挙 |

写真＝Jリーグ



繋いだ歴史は、新しい時代へ。



皇后杯

43
2021/11/27 -
2022/2/27

皇后杯 JFA

第43回全日本女子サッカー選手権大会

[1回戦] 2021年 11/27[土]、28[日]

[2回戦] 12/4[土]、5[日]

[3回戦] 12/11[土]、12/12[日]

[4回戦] 12/25[土]

[準々決勝] 12/29[水]

2022年 1/5 [水] 準決勝

カンセキスタジアムとちぎ (栃木県宇都宮市)

2/27 [日] 決勝

サンガスタジアム by KYOCERA (京都府亀岡市)

皇后杯4回戦になでしこリーグからは以下のチームが進出しました。
リーグ戦に引き続き、チームへご声援、よろしくお願いたします。

【対戦カード、大会の詳細は】

http://www.jfa.jp/match/empresscup_2021/

■4回戦 2021年12月25日

【4回戦進出チーム】

オルカ鴨川FC

スフィーダ世田谷FC

伊賀FCくノ一三重

セレッソ大阪堺レディース

試合レポート：皇后杯3回戦 伊賀FCくノ一三重 vs 福岡J・アンクラス

皇后杯3回戦

伊賀FCくノ一三重 vs 福岡J・アンクラス



試合結果：

伊賀FCくノ一三重 7 - 0 福岡J・アンクラス

ゴール：

伊賀FCくノ一三重 (10分 森仁美、24分 杉田 亜未、53分 島野 美央、56分 杉田 亜未、59分 西川 明花、67分 沖野 くれあ、89分 三橋 明香)
福岡J・アンクラス

試合レポート：皇后杯3回戦 静岡SSUアスレジーナ vs オルカ鴨川FC

皇后杯3回戦

静岡SSUアスレジーナ vs オルカ鴨川FC



試合結果：

静岡SSUアスレジーナ 0 - 1 オルカ鴨川FC

ゴール：

静岡SSUアスレジーナ

オルカ鴨川FC (32分 浦島 里紗)

なでしこリーグは皇后杯の情報、結果や
チームの試合後のコメントなども掲載
しています。

なでしこリーグ公式HP内“ニュース”
よりご覧ください。

なでしこリーグ HP

<http://www.nadeshikoleague.jp/>



【開催の様子をご紹介します】

◆（一財）岡山県サッカー協会技術委員会（岡山県） 11月7日（日）

灘崎町総合公園フットサルコートにてJFAなでしこひろば in 岡山FA技術委員会を開催しました。

小学生23人中中学生11人の皆さんに参加いただき、ボール遊び、ミニゲームを楽しみました！

様々なボールタッチにチャレンジした後は、大好きなミニゲーム！ゴールを目指してみんなで楽しみました。岡山県トレセンスタッフを中心に、女性コーチも一緒にサッカーを楽しみました。



また、12月3日（金）は岡山ドームフットサルコートに場所を移して開催しました。

小学生22人中中学生1人の皆さんに参加いただき、屋内コートでボール遊び、ミニゲームを楽しみました！
様々な学年の選手と一緒にプレーしたり、サイズの違うコートでミニゲームを行ったり、いろいろな体験をする中で、みんな元気に明るく積極的にプレーしていました！

ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。

（一財）岡山県サッカー協会技術委員会では女子サッカーの普及のため、様々な環境整備のサポートを行っていきます。



◆宮古島なでしこサッカー（沖縄県）11月23日（祝・火）

『広げようサッカーで繋がる友達の輪』

<参加人数>

高校生 13名

中学生 6名

小6 2名

小5 2名

小4 6名

小3 4名

小2 6名

小1 5名

未就学児 8名

合計 52名（未経験者&初心者 15名）

前回より参加人数が11名増えました。

私を含め9名のスタッフで、役割を分担し4つのカテゴリーに分けて、鬼ごっこ→ボールフィーリング→ドリブル→シュート→ゲームを行いました。

①未就学児 ②1・2年生 ③3年～5年 ④6年～高3

ゲーム前のメニューでは①・②のカテゴリーに高校生にサポートで入って貰い交流させて、ゲームでは③と④をミックスし小中高と一緒にゲームを楽しみました。

全体の時間を2時間で行いましたが、未就学児が2時間だと長いので、次回は工夫したいと思います。



◆フガールエスタディオ石巻（愛知県）11月27日（土）

参加者 10名（新規参加2名）

テーマ：パス&コントロール

ウォーミングアップ

アスリートヨガ講師 櫻井香先生のストレッチ

性別・年齢などを考慮して自分の身体に向き合いサッカーのトレーニングの準備を行う。

トレーニング・1

ボールフィーリング（2人組） ハンドパス、ドリブル&パス

トレーニング・2

ドリブルシュート、パス&シュート

トレーニング・3

ゲーム（5×5）

クールダウン

アスリートヨガ講師 櫻井香先生のストレッチ

性別・年齢などを考慮して自分の身体に向き合いサッカー後のクールダウンを行う。

告知は、なでしこひろば（月1回）とリコペンテなでしこ（週1回）を開催して、保護者LINEで開催の連絡、新規参加者の開拓を行いました。

コロナ対策については、学校、職場など感染状況の把握、体調管理（発熱の有無）、手洗いの徹底、アルコール消毒の徹底などを行いました。難しい点は感染状況の把握でした。開催の決定判断が難しく、開催できない月もありました。

今回もサッカーを楽しく、笑顔で開催することができました。もっと上手になりたいなど向上心も生まれていて、環境整備、継続が必要であると思っています。



【なでしこひろばデータをまとめてみました】

全国都道府県別認定団体数及び2021年11月開催申請数

| 都道府県 | 団体数 | 開催申請数 | 都道府県 | 団体数 | 開催申請数 |
|---------|-----|-------|---------|-----|-------|
| 1 北海道 | 16 | 5 | 25 滋賀県 | 7 | 4 |
| 2 青森県 | 5 | | 26 京都府 | 8 | 3 |
| 3 岩手県 | 5 | 10 | 27 大阪府 | 18 | 4 |
| 4 宮城県 | 11 | 3 | 28 兵庫県 | 10 | |
| 5 秋田県 | 3 | 2 | 29 奈良県 | 3 | |
| 6 山形県 | 2 | | 30 和歌山県 | 3 | |
| 7 福島県 | 2 | | 31 鳥取県 | 6 | 1 |
| 8 茨城県 | 9 | 3 | 32 島根県 | 1 | |
| 9 栃木県 | 16 | 5 | 33 岡山県 | 11 | 2 |
| 10 群馬県 | 5 | 2 | 34 広島県 | 9 | |
| 11 埼玉県 | 36 | 4 | 35 山口県 | 2 | |
| 12 千葉県 | 11 | 1 | 36 香川県 | 6 | |
| 13 東京都 | 59 | 7 | 37 徳島県 | 5 | 5 |
| 14 神奈川県 | 24 | 2 | 38 愛媛県 | 3 | |
| 15 山梨県 | 6 | | 39 高知県 | 2 | |
| 16 長野県 | 11 | 6 | 40 福岡県 | 13 | 2 |
| 17 新潟県 | 7 | 2 | 41 佐賀県 | 6 | 2 |
| 18 富山県 | 4 | 2 | 42 長崎県 | 6 | |
| 19 石川県 | 6 | 1 | 43 熊本県 | 4 | |
| 20 福井県 | 5 | 3 | 44 大分県 | 5 | |
| 21 静岡県 | 12 | 4 | 45 宮崎県 | 3 | 1 |
| 22 愛知県 | 20 | 5 | 46 鹿児島県 | 2 | |
| 23 三重県 | 10 | | 47 沖縄県 | 8 | 3 |
| 24 岐阜県 | 5 | | 合計 | 431 | 94 |

【2021年11月データ】

- ・ 全国登録団体数 : 431団体
- ・ 新規登録団体数 : 3団体
- ・ 認定団体数の全国トップ3
 - 1) 東京都 (59団体)
 - 2) 埼玉県 (36団体)
 - 3) 神奈川県 (24団体)
- ・ 全国開催申請数 : 94開催
(10月開催申請数は81開催、13開催増)

気がつけば12月も半ば、今年もあとわずかとなりました。新型コロナウイルス感染症の感染者数もぐっと減り、落ち着いてきてはいますが、新しい変異株の感染者が確認されるなど、まだまだ予断を許さない状況です。とはいえなでしこひろばの開催申請数も増え、楽しく開催していただいたご報告も頂戴しております。この状況下で、体を動かす貴重な機会かと思っておりますので、皆様引き続き、ご配慮いただきながらの開催を、何とぞよろしくお願い申し上げます。

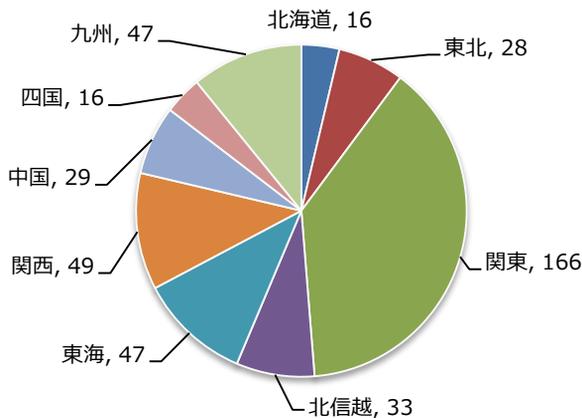
【事務局の受け付けが変更になりました】
2021年4月から、なでしこひろば事務局の受け付け・お問い合わせ方法をメールのみの対応とさせていただきます。

これまでの電話受け付けがなくなり4月1日以降はメールのみの対応とさせていただきます。各団体様にはご不便をおかけいたしますが、何とぞご了承のほど重ねてお願い申し上げます。

E-mail : info@nadeshikohiroba.jp
(今までのアドレスと変更ありません)

地域別認定団体数

| | |
|------|-------|
| 北海道 | 16カ所 |
| 東北 | 28カ所 |
| 関東 | 166カ所 |
| 北信越 | 33カ所 |
| 東海 | 47カ所 |
| 関西 | 49カ所 |
| 中国 | 29カ所 |
| 四国 | 16カ所 |
| 九州 | 47カ所 |
| 【合計】 | 431カ所 |



<http://www.jfa.jp/nadeshikohiroba/>

※次回は2022年1月11日(火)ごろ配信予定です。お楽しみに！